

八戸

県春季サッカー 市長に初V報告

八学大女子部

5月7、8日に十和田市
で開かれた県女子サッカー

選手権春季大会で初優勝した八戸学院大学女子サッカー部のメンバーが20日、八戸市庁を訪れ、小林真市長に報告した。

同部は2014年創部。同選手権初挑戦だった昨年は初戦で敗退したが、今年は1回戦から決勝まで4試合無失点。決勝では6連覇

を狙ったSHRINE.L.F.C(シュラインレディーズFC=弘前)を1-0で破った。

市庁には大谷真樹学長、畑中孝太監督、續橋菜摘(つづはなみ)主将、古屋敷ほたる副主将、阿部花菜選手(いづれも3年)らが訪問。續橋主将は「初めての県タイトル。周

囲への感謝を忘れずに、インカレ(全日本大学女子選手権)で勝つことを目標に頑張りたい」と語った。

小林市長は「八戸学院大は、女子スポーツに力を入れて着実に結果を残している。さらに上を目指す選手が出てくることを期待している」と激励した。

(小橋徹)



小林市長(左)に初優勝を報告する(左から)續橋主将、古屋敷副主将、阿部選手